

中津森防災ヘリ・ドクターヘリ場外離着陸場が完成しました



5月23日(月)、中津森防災ヘリ・ドクターヘリ場外離着陸場の完成式を行いました。

通称、中津森ヘリポートは、本市で初の本格的な専用ヘリポートとして、土地所有者の皆さまに無償提供していた、整備したものであり、今後、災害時における傷病者や医療物資などの搬送拠点となるとともに、ドクターヘリによる県立中央病院などへの移送に係る時間の短縮が図られるなど、本市の救急医療体制の向上にも繋が



るものと考えております。

さらに、県の防災ヘリの運航基準により、活動に支障があった中央自動車道富士吉田線の北側地区に当たります、小形山地区から東桂地区までの消防防災活動が可能となり、山林火災などを含む、本市の災害時における防災力の向上に大きく貢献されるものと期待されています。



妊産婦に対する救急車両の出場に関する覚書を調印しました



■調印後に握手をする3人(右が山梨赤十字病院 今野院長
中央は今回の立会人の山梨大学 平田教授)

5月23日(月)に、山梨大学医学部産婦人科平田修司教授立ち会いの中、本市と山梨赤十字病院との間で、妊産婦に対する医師の出場に関する覚書の調印式が山梨赤十字病院において執り行われました。

この覚書は、妊産婦が自宅などで、急ぎよ出産を余儀なくされた場合における母体の弛緩出血や、新生児の低体温など、母子の生命に直接かわる事態に対し、消防本部の救急車などにより、山

梨赤十字病院の医師を直接現場に搬送することで、緊急を要する妊産婦に対して、その場で迅速な処置が可能となる救急医療体制を整備するための覚書に調印しました。

これにより、本市を始め道志村などの妊産婦の皆さまが安心して子どもを産める環境整備が、さらにもう一歩前進したものと考えております。

